

第 54 回全国保育士会研究大会

～「特別分科会」発表募集要項～

- 保育所や幼保連携型認定こども園、地域子育て支援センターなどの第一線で働く保育士・保育教諭等が一堂に会し、実践研究の発表や、保育をめぐる課題等を研究協議することを目的に、全国保育士会研究大会を毎年開催しています。大会2日目の「実践研究分科会」では、会員自らが主体的に発表をする『特別分科会』を設けています。
- 『特別分科会』は、自らの実践に対し全国の仲間から意見をいただき、意見交換をおこなうことで保育の質の向上をはかる場として位置づけています。全国研究大会の場で、全国の仲間と実践の共有をおこない、ともに保育の質を高めていきましょう。
- 日々取り組まれている実践、研究的な実践など、幅広い実践の発表をお待ちしています。ふるってご応募ください。
(なお、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点からオンラインでの発表とさせていただきます。)

発表日：令和3年 10月 13日（水）

会 場：WEB 開催

発表内容：**全国保育士会会員が所属する保育所・認定こども園等ならびに地域における保育・子育て支援の実践に関わるテーマ**

発表対象：全国保育士会会員

発表方法：ZOOM を使用した WEB 上での発表

※以下の内容についてご注意ください。

- ①ご応募いただくにあたっては、ZOOM の使用が可能な WEB 環境および、発表に集中できる環境をご自身でご用意いただくことを前提といたします（本会で設置する配信拠点にお集まりいただくことはありません）。
- ②特別分科会中の録画・録音・撮影・転用などは固く禁じます。また、分科会参加のための URL の再配布についても禁じます。
- ③リアルタイム配信中にネットワークへ接続できなくなり、再接続が困難になった際には全国保育士会事務局へご連絡ください。



発表時間：30分程度

[内訳：発表20分、司会者によるまとめ等5～10分]

- ※発表時間は、目安です。発表数により今後変更する可能性があります。
- ※全国の仲間と実践の共有を実施することにより、保育の質の向上を図るという特別分科会の目的から、発表後も退出をせずに他の発表をお聞きください。

お申込方法：

- (1)裏面「発表申込書」に必要事項をご記入のうえ、各都道府県・指定都市保育士会宛に、令和3年6月23日(水)までに、メールまたは郵送等で送付してください。
※本募集要項は、下記本会ホームページにも掲載しております。
- (2)大会当日用の資料は、発表決定後、別途ご案内する内容（A4サイズ、9枚以内、word等のソフトにてご作成いただいたデータ[予定]）に基づいてご用意いただきます。
- (3)本分科会での発表は、本会の事業である「学会発表助成」に申請する際の選択要件の一つです。学会発表助成に申請いただく場合は、「その他の学会での発表」と同じテーマでお申込ください。（※令和3年度「学会発表助成」の詳細は、募集要項をご覧ください。募集要項は、下記本会ホームページに掲載しております。）

その他：

- (1)発表の可否は、「大会運営委員会」における審査のうえ、令和3年7月頃に「発表申込書」記載の連絡先に連絡いたします。また、決定後には、発表決定者の法人・施設名（施設の存する都道府県・指定都市名含む）、氏名、テーマを全国保育士会ホームページに掲載いたします。
- (2)発表者は原則1名とします。なお発表者とは、**研究および論文の執筆をした者で、全国保育士会研究大会当日の実践研究発表の際に、発表(発言)を行う者**とします。
- (3)特別分科会で発表される方の大会参加費・旅費は、各自のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- (4)発表者は「保育活動専門員」認定制度の研修ポイント（50ポイント）が取得できます。
- (5)特別分科会は、発表と参加者による実践の共有が中心となるため、助言者はおいていません。
- (6)全国保育協議会が実施する全国保育研究大会のフリー発表分科会と、同一の発表者が、同一のテーマで応募することはできません。

【発表申込書提出先】各都道府県・指定都市保育士会

（全国保育士会ホームページをご参照ください）

【本件に関する問合せ先】 全国保育士会事務局（安藤）

TEL. 03-3581-6503 / FAX. 03-3581-6509

E-mail : hoikushikai@shakyo.or.jp

ホームページ <http://www.z-hoikushikai.com/>

過去の発表テーマ：

<p>第 53 回大会 (島根県松江市)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 「たくましく生きる力を育む ～すもう遊びから見えた、主体性のあり方～」2. 「対話的コミュニケーションの育み ～フィンランドメソッドを中心に～」3. 「魅力ある地域の特色を生かした保育」4. 「高齢者施設が託児室～共に生きることの大切さ～」5. 「わらべうた遊びを通して、心豊かな子どもを育む」6. 「『子ども主体保育』における乳児期の生活リズムの形成」
<p>第 52 回大会 (大分県大分市)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 「『俳句あそび』の実践 ～感動したことを『言葉』に～」2. 「楽しく食べる子どもをめざして ～みんなでおいしい野菜を育てよう！～」3. 「お茶を通して豊かな心を育むために ～保育者の資質向上に視点を当てて～」4. 「子どもの理想的な睡眠をめざして、保護者への情報モラル指導や啓発を」5. 「自然体験を通して広がる、子どもの豊かな感性 ～自然のなかから～」6. 「キャリアアップから見えるミドルリーダーとしての役割」7. 「木育（もくいく） ～『自然とのかかわり』のなかで、たくさんの自然に触れて感動する体験を～」
<p>第 51 回大会 (富山県富山市)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 「運動遊びを通じた仲間づくり」2. 「おむつにさよならする日 ～排尿における家庭環境と養育者のかかわりがもたらすもの～」3. 「子どもの育ちをつなげる保育記録 ～業務の効率化から保育の質の向上をめざす～」4. 「保育の社会化に向けて ～たかくさ保育園における現状と課題～」5. 「利用者にとって居心地のよい支援センターとは 母親（保護者）たちが主役になって輝ける場所」6. 「固定遊具を使った遊びで運動能力は向上するのか」7. 「地域社会や人とつながり合う保育所」